

アクショープヤの誓願の特徴

佐藤直実

(平成17年9月30日 提出)

最初期の大乗仏教文献の一つに『阿闍仏国経 *Akṣobhyavyūha*』がある。同経はアクショープヤ (*Akṣobhya*) の発心、誓願、成道から般涅槃、そして彼の仏国土「妙喜世界」の様子を描いている。本稿では、特にアクショープヤの誓願に注目し、その特徴を分析することで、同経の担い手の検証を行った。アクショープヤの誓願には1) 二段階に分かれて行われる 2) 諸仏を欺くという表現方法 の2つの特徴がある。これをもとに、さらに誓願内容を検討した結果、「出家を前提としている」「自戒的傾向が強い」「実践を重視している」「成仏よりも誓願の遵守、つまり諸仏を欺かない行為を重視している」の4点の特徴が浮き彫りとなった。これらの結果から、アクショープヤ信仰は出家を基盤とした初期仏教内部より生じた可能性が指摘できよう。

キーワード：アクショープヤ、阿闍仏、誓願、初期大乗仏教、阿弥陀仏

0. 問題の所在

大乗仏教の起源は今なお定説をみないが、現在までの諸説からその担い手は「初期仏教内部」「初期仏教外部」の2種の可能性があり、さらに「出家者」「在家者」「どちらとも」の3種類、合計6種類が候補として想定できる。

最初期の大乗仏教文献の一つに『阿闍仏国経 (**Akṣobhyavyūha*)』(=AV)があるⁱ。同経はアクショープヤ (*Akṣobhya*, 阿闍仏, *Mi 'khrugs pa*) の発心、誓願、成道から般涅槃、そして彼の仏国土「妙喜世界」の様子を描いている。本稿では、特にアクショープヤの誓願に注目し、その特徴を分析することで、同経の担い手を検証し、大乗仏教の起源を明かす一助としたい。

アクショープヤの誓願は第1章に説かれているⁱⁱ。彼の誓願は二段階に分かれており、内容には「誓願が遵守されること」と「諸仏を欺かないこと」の二つの特徴が見られる。

1. 二段階の誓願

第1章にはアクショープヤが正覚を得るまでの過程が次のような順序で描かれている。アクショープヤは、最初は名前の記されない一介の比丘として登場する。

- ある比丘がマハーネートラ (**Mahānetra*, 大目、広目、*Spyan chen po*) 如来の説法(六波羅蜜を初めとする菩薩行)を聞く [1.18]
- ある比丘は自分も菩薩の学習をしたいとマハーネートラ如来に願い出る [1.20]
- ある比丘は不動なる真実の言葉によって一切知者になりたいと発心し、回向する [1.25]
- ある比丘はいくつかの誓願をたてる [1.26-33]
- ある比丘は「アクショープヤ」の名前を得て菩薩となる [1.34-36]
- アクショープヤ菩薩はいくつかの誓願をたてる [1.38-72]

- ・ アクショープヤ菩薩はマハーネートラ如来より授記される [1.87]
- ・ 授記により、大地震などの様々な奇跡が生じる [1.88-107]
- ・ アクショープヤ菩薩はアクショープヤ如来となる [1.128]

つまり、「菩薩になるための発心(比丘時) → 菩薩になるための誓願(比丘時) → 菩薩になる → 正覚を得るための誓願(菩薩時) → 如来からの授記(菩薩時) → 正覚を得る」という過程を経ることがわかる。

この中で比丘時にたてる「菩薩になるための誓願」は他の仏には見られないアクショープヤ特有のものである。例えば阿弥陀ⁱⁱⁱの場合は、初めから「菩薩」として登場するために第1段階の誓いが無い。

比丘とは、仏教教団の構成員(四衆)の中の受戒した男性出家者を示す。つまり、アクショープヤが最初に比丘として登場するということは、彼がもともと教団に所属する出家者であったことを意味している。そして、比丘を経て菩薩になるという構図から、AVが想定している菩薩とは、何らかの僧団に所属した出家者であり、在家信者や諸部派と無関係の新興勢力ではなかったと言える。これは「大乘仏教が部派仏教からの発展とは見がたい」と主張する平川 [1990: 443-444] の大乘仏教仏塔在家起源説、すなわち、大乘は仏塔を中心とした在家信者の間から興ったという説に反するものである。

それでは、具体的に各段階の誓願内容を見ていきたい。

1.1 比丘の時にたてた誓願

東方妙喜世界にて、マハーネートラ如来の六波羅蜜に始まる説法を聞いたある比丘が、自分も菩

薩の学習を手に入れたいと考える [1.18-20]。そして、それをマハーネートラ如来に願い出ると、「菩薩は全ての生類に対して動揺してはならず (tib. *mi 'khrugs par bya ba*)、怒りの心を生じてはならない (tib. *gnod sems can gyi sems mi bskyed par bya ba* [1.23])」ので、菩薩の学習を手に入れるのは非常に難しい [1.22] と断られる。しかし、そこで再度「私は、今後、動かず (tib. *g-yos ma mchis pa*) ごまかしのない (tib. *sgyu ma mchis par*) 真実の言葉 (tib. *mad pa'i tshig*) と唯一の言葉 (tib. *gzhan du mi 'gyur ba'i tshig*) によって無上正等覚に対する心を生じましょう。無上正等覚に対する心捧げましょう。確かに振り向け(回向)もしましょう [1.25]」と誓い、続いて具体的にいくつかの禁止事項を誓う。

禁止事項は3訳を併せると総数27箇条あり、そのうち3訳に共通する内容は12箇条、AVcin1とJSYのみが5箇条、AVcin2とJSYのみが2箇条、AVcin1とAVcin2のみは0、JSYのみが7箇条、AVcin1のみが1箇条、AVcin2のみは0である。(【表1】参照)

これらはいずれも自戒をこめた内容であり、大乘特有の思想と言われる利他的な要素は全く見られない。

1の項では自分への戒めとして、三毒の一つである「怒り」を生じないことを誓っている。1.3はアクショープヤの名前の語源でもある重要な単語であるが、漢訳2訳には相当する語が見あたらない^{iv}。

2は漢訳には記されない。自分自身が常に一切知者の心を持つことを誓っている。自戒的なものである。

3.1-2は初期仏教勢力への批判であり、AVが部派仏教に異を唱える勢力であったことがわかる^v。

4は3訳に共通し、三毒の一つ「貪り」に相当し、次項5の一部にも含まれる内容である。

【表1】比丘の誓願の禁止事項の蔵漢対照一覧表

	JSY和訳	JSY	AVcin1	AVcin2
1.1	怒り	khro ba	瞋恚	瞋害心
1.2	瞋	gnod sems	—	—
1.3	動揺	'khrugs pa	—	—
2	常に一切知者の心を離れる	gom pa 'dor ba re re la thams cad mkhyen pa'i sems dang bral ba	—	—
3.1	声聞の心	nyan thos kyi sems	弟子	聲聞(心)
3.2	独覚の心	rang sangs rgyas kyi sems	縁一覺	獨覺心
4	愛欲	'dod pa'l 'dod chags	姪欲	愛欲
5.1	食欲	'dod chags	—	—
5.2	瞋恚	zhe sdang	—	瞋癡之心
5.3	痴	gti mug	—	—
5.4	加害	rnam par 'tshe ba	惡作	損害
5.5	睡眠	rmugs pa	睡眠	—
5.6	昏沈	'gyod pa	昏沈	—
5.7	悔恨	gnyid	悔恨	—
5.8	怠け心	rgod pa	—	—
5.9	—	—	貢高	—
6	疑惑	the tshom	狐疑	疑惑心
7	殺生	srog gcod pa	殺生	殺害
8.1	盗み	ma byin par len pa	盜取他人財物	—
8.2	非梵行	mi tshangs par spyod pa	非梵行	非梵行
8.3	妄語	brdzun du smra ba	妄言	妄語
8.4	兩舌	phra ma	—	兩舌
8.5	粗野な言葉	ngag rtsub po	罵詈	惡口
8.6	綺語	tshig khyal par smra ba	綺語	僞語
8.7	貪	brnab sems	—	—
8.8	瞋	gnod sems	悔恨	—
8.9	邪見	log par lta ba	邪見	邪見

5.1-8はアビダルマで定義される「二十随煩惱」に含まれる項目である。このことから、アビダルマに精通した人々によって作られたと推測される。初期仏教の思想を踏襲していると言える。

6は3訳に共通し、同じく「二十随煩惱」に含まれる。

7、8.1-9の各項目は初期仏教経典で主張される「十悪業道 (pali. dasa akusalakammaphā)」に相当する^{vii}。AVが初期仏教思想を踏襲していることが伺える。

初期仏教の影響を受けていることは確かであるが、AVには「十悪業道(戒)」あるいは「十善業道(戒)」といった初期仏教特有の用語はない。JSYは十善(悪)全ての項目を挙げているものの、まとめては記さず(殺生を別立てしている)、また、漢訳2訳はいくつかの項目が欠落している。これらの特徴から、AV保持者は、これらの項目を、まだ「十善(悪)」というまとまりとしては認識していなかったと考えられる^{viii}。

大乘経典の小品系般若経になると、例えば梵本Astには、「十悪」と対をなす「十善業道 (skt. daśa kuśaladharmaphā)」が不退転菩薩の守るべき事項として挙げられる^{ix}。同じく小品系『道行』^x小品』などの漢訳ではdaśa kuśaladharmaphāに相当する訳語が「十戒」となっており^{ix}、これらが「戒」として解釈されている。この解釈は大品系へと受け継がれ、六波羅蜜の一つ「戒波羅蜜」として理解されるようになる^x。

その後、様々な大乘経典でも「十戒」は説かれ、次第に「菩薩の守るべき戒」として定着する^{xi}。

しかし、先述したように、AVでは十項目はまとまった項目として認識されていないため、おそらく小品系般若経の影響を受けていない経典と言えるだろう。

以上のように、アクションブヤの誓願内容は初期仏教思想を踏襲したものが多く、二乗の批判は

あっても排斥していないことがわかる。また、全体的に自戒的な内容が多いと言える。

なお、3訳に共通する禁止事項を抽出すると以下の11点である。「瞋りの心を持つ」「声聞・縁覚の心を持つ」「愛欲の心を持つ」「愚かな心を持つ」「疑惑の心を持つ」「殺生をしたいと思う」「盗みをしたいと思う」「梵行をしないと思う」「嘘をつきたいと思う」「恨みに思う」「邪見を持つ」。

1.2 菩薩の時にたてた誓願

ある名もなき比丘が誓いを表明し、その如くは一切衆生に対して心を揺れ動かさなかったので [1.34]^{xii}、マハーネートラ如来は、サンスクリット語で「揺れ動かない者」を示すAkṣobhyaという名前を彼に与える。この名もなき比丘は、この時に初めて名前を得、同時に「菩薩」になるのである。

そして今度は「菩薩」としての誓いをあらためて表明する。「比丘」から一旦「菩薩」になるという段階を設けていることから、アクションブヤがもともと仏教教団の出家者であったことがわかる。

菩薩時にたてた誓願内容は比丘時の誓願に比べると未整備である。そのため、3訳を比較するのは容易ではない。傾向としてAVcin1が最も簡潔で、JSYは最も詳細になっている。また、AVcin2とJSYは共通する点が多い。【表2】はその一覧である。

9は、換言すれば「誓った通りに実践する」ということであろう。具体的な誓願表明の前の宣誓とも受け取れる。JSYでは、最後(29)でも再度表明している。

10は、AVcin1には相当文が見あたらない。比丘時の誓願2「常に一切知者の心を離れない」と似ているが、「仏を思念しながら」という内容、すなわち仏への帰依心が付加されている。

【表2】菩薩の誓願の禁止事項の藏漢対照一覧表

	JSY和訳	JSY	AVcin1	AVcin2
9	言った如くに行わない	ji skad smras pa de bzhin du ma bgyis	不奉行如今所語	所修行業或違此言
10	常に仏を思念するという一切知者の心を生じない	gom pa 'dor ba re re tsam dag la / sangs rgyas yid la bgyid pa dang ldan pa'i thams cad mkhyen pa'i sems ma bskyed	(常不捨得律行跡?)	若於一一語言。不與念佛及一切智相應
11	生まれ変わる度に家から[出て]家のない者として正しく出家しない	tshe rabs tshe rabs su khyim nas khyim ma mchis par yang dag par rab tu ma byung	世世不常作沙門	生生在家不出家
12	《生まれ変わる度に出家して》*	tshe rabs tshe rabs su mngon par rab tu byung nas kyang	世世	—
12.1	*静閑所に住む者にならない	dgon pa par ma gyur	—	不住阿蘭若
12.2	*乞食者にならない	bsod snyoms pa ma gyur	作沙門不常行分衛	不乞食
12.3	*糞掃衣を着る者にならない	phyag dar khrod pa ma gyur	不常著補納之衣	不著糞掃衣
12.4	*一日一食する者にならない	stan gcig pa ma gyur	—	不一坐食
12.5	*[午]後に食事しない者にならない	zas physis mi len pa ma gyur	—	再食不食
12.6	*頂いた食事に応じて受け取る者にならない	zas rnyed rnyed len pa ma gyur	—	不節減食
12.7	*墓に留まる者にならない	dur khrod pa ma gyur	—	不住塚間
12.8	*屋根のない[場所に座する]者にならない	bla gab med pa ma gyur	—	不露坐
12.9	*樹下に座する者にならない	shing drung pa ma gyur	作沙門已不常在樹下坐	不安止樹下
12.10	*座して眠らない者にならない	cog bu pa ma gyur	—	不常坐?
12.11	*どんな場所でも座す者にならない	gzhi ji bzhin pa ma gyur	—	不隨所而坐
12.12	*三衣を持つ者にならない	chos gos gsum pa ma gyur	作沙門以三法衣不具	不持三衣
12.13	*毛織物を着る者にならない	phying pa pa ma gyur	—	—
12.14	*小欲者にならない	dod pa chung ba ma gyur	—	—
12.15	*満足を知る者にならない	chog shes pa ma gyur	—	—
12.16	*法を求める者にならない	chos 'dod pa ma gyur	—	—
12.17	*法を喜ぶ者にならない	chos la dga' ba ma gyur	—	—
12.18	*法を敬う者にならない	chos la gus pa ma gyur	—	—

12.19	*法を抛り所とする者にならない	chos la brten pa ma gyur	—	—
12.20	*法師にならない	chos ston pa ma gyur	—	—
12.21	*教学・頭陀行の徳性・什器を減らすという契約という正しく受け取るべきものを受け取って留まることがない	bslab pa dang sbyangs pa'i yon tan dang~/ yo byad bsnyungs pa'i yi dam yang dag par blang ba dag blangs te / gnas par ma gyur	—	—
13	《生まれ変わる度に出家して》*	tshe rabs tshe rabs su mngon par rab tu byung nas kyang	—	—
13.1	*説法者にならない	chos ston par ma gyur	不常為人説法・ 不常作法師	—
13.2	*無貪なる弁才を備えた者にならない	spobs pa chags ba med pa dang ldan par ma gyur	所説事 不有 無所 礙高 明之行	—
13.3	*無量なる弁才を備えた者にならない	spobs pa tshad ma mchis par ma gyur	不有無量高 明之智	—
14	(立つ・お座りになる・散歩するの三威儀以外に) 臥す	greng ba dang mchis pa dang 'chag pa'i spyod lam gsum ma gtogs par nyal bar gyur	世世不常精進 行三事 何等三 一者經行 二者 坐 三者住	不住三威儀 或立或坐 或 復經行
15.1	ある衆生に根本の墮落が生じることを備える	sems can 'ga' tsaṃ la rtsa ba'i ltung ba 'byung ba dang ldan pa	衆生犯根本 罪	—
15.2	根本の墮落を備えた心を生じる	rtsa ba'i ltung ba dang ldan pa'i sems (bskyed par gyur)	世世若發意 念罪本	—
15.3	女を伴う	bud med dang ldan pa ('i sems bskyed par gyur)	—	—
15.4	妄語を伴う	brdzun du smra ba dang ldan pa ('i sems bskyed par gyur)	妄語	作妄語
15.5	それ(妄語)以外の[相応しくない]言葉を話すことを伴う	de las gzhan pa smra ba brjod pa dang ldan pa ('i sems bskyed par gyur)	欺人	餘世俗憤聞 之言
15.6	他人を傷つけて落胆することを伴った心を生じる	gzhan la gnod cing spa gong ba dang ldan pa'i sems bskyed par gyur	誹謗讒言	起摧伏他論 相應之心
16	《女に対して、このような無常の相、苦の相、空と無我の相その他の相によって法を説く時に[女の]体から生じる様々な相を美しさの特徴と見なして》*	—	世世爲女人 説法 及食飲 因縁	與婦人説法。 若不起無常 苦空無我之 相 而取彼相

16.1	* 歯の並びを見せる	so'i 'phreng ba	—	露齒
16.2	* 微笑する	dgod pa bgyid	起想著笑爲說法	笑
16.3	* 手を動かす	lag pa g-yob par bgyid	—	—
17	法を説く時に、手を変化させて説く	chos ston pa na gal te lag pa bsgyur	世世若舉手說法	於說法時顧指輕蹠
18	如来に従って頭と髭を剃った人で、器になった人や、器にならなかった人[という区別も] なく、如来の宝幢である黄土色の法衣を求めの人々を見た時に、彼に対して如来という認識や、如来の塔廟という認識を生じない	de bzhin gshegs pa'i rjes su skra dang kha spu bregs pa snod du gyur pa 'am snod du ma gyur pa 'ang mi mnga' ste de bzhin gshegs 'tshal ba dag mthong na de la de bzhin gshegs pa'i 'du shes sam de bzhin gshegs pa'i mchod rten gyi 'du shes ma bskyed	世世見餘菩薩不發佛心	見餘菩薩不生大師之想
19	他の諸菩薩を見た時に、彼らに対して教師の認識を生じない	byang chub sems dpa' gzhan dag mthong na de dag la ston pa'i 'du shes ma bskyed	—	—
20	説法(chos 'chad pa) 時に、説法者たちがいらして[いるのに]、法を聞くようにならない	chos 'chad pa na chos ston pa dag gal te mchis te chos nyan par ma gyur	—	—
21	如来応供無上正等覺者たちを除いて、外道の沙門・バラモン・他の神々とに帰依する者になる	de bzhin gshegs pa dgra bcom pa yang dag par rdzogs pa'i sangs rgyas rnam ma gtogs par 'di las phyi rol tu gyur pa'i dge sbyong dang bram ze dang lha gzhan dag la phyag bgyis par gyur"	世世若發意念。供養外異道人捨諸如来 世世若在坐上聽法	若坐聽法及禮外道沙門婆羅門。唯除諸佛沙門弟子
22	「こちらには布施を与えよう、こちらには布施を与えまい」と、衆生に対して差別するような認識を生じた	di la ni sbyin pa stsal bar bgyi'o~// 'di la ni sbyin pa stsal bar mi bgyi'o zhes sems can la tha dad du bgyi ba'i 'du shes bskyed par gyur	世世若發意念 我當布施與某 不布施與某	行財法施時情有彼此 應供養所生簡異心
23	「こちらにはお礼を捧げよう、こちらにはお礼を捧げまい」と、このような認識を生じた	di la ni yon dbul bar bgyi'o~// 'di la ni yon dbul bar mi bgyi'o zhes de lta bu'i 'du shes bskyed par gyur	世世若發意念 我當於某處立福施 於某處不立福施	—
24	「こちらには正法の布施を与えよう、こちらには[正法の布施を] 与えまい」と、このような認識を生じた	di la ni dam pa'i chos kyi sbyin pa stsal bar bgyi'o // 'di la ni stsal bar mi bgyi'o zhes de lta bu'i sems bskyed par gyur	世世若發意念 我常持法施與某 不持法施與某	—

25	ある死刑に相応しい衆生が連行されているのを見ても、彼を解放するために私が体を投げ出さなかった	dgum par 'os pa'i sems can la la zhid khrid de mchis pa mthong na de yongs su thar par bgyi ba'i slad bdag gis lus yongs su gtang ba ma bgyis	世世見孤窮。用其人故不分身命	見諸罪人將被刑罰不捨身命而救護彼
26	墮[法]の罪が生じた比丘と比丘尼と優婆塞と優婆夷たちを見た時に、『あなたにこの墮[法]の罪が生じた』と墮[法]を説いた	dge slong dang dge slong ma dang dge bsnyen dang dge bsnyen ma ltung ba'i nongs pa byung ba dag mthong na khyod la ltung ba'i nyes pa 'di byung ngo zhes ltung ba glengs par gyur	有罪惡者及讒罪惡	比丘比丘尼優婆塞優婆夷有諸罪孽若說其所犯
27	夢ですら精液が生じた	tha na g-yar lam tsam du khu ba phyung bar gyur	於夢中失精	夢中若生欲想而有所泄
28	私が無上正等覺をさとした仏国土で、現在(この世)のような女や[現在以外の]女の欠点を備えた女やそのような女の欠点が生じる	bdag bla na med pa yang dag par rdzogs pa'i byang chub mngon par rdzogs par 'tshang rgya ba'i sangs rgyas kyi zhing du da ltar gyi bud med dang bud med kyi skyon gang lags pa'i bud med dang bud med kyi skyon de lta bu dag 'byung bar 'gyur	世間母人有諸惡露我成最正覺時我佛刹中母人有諸惡露者	我佛刹中若諸女人有女過失如餘土者終不取正覺
29	言った如くに行わない	ji skad smras pa de bzhin du ma bgyis	(是爲菩薩法事如意所念行)	—

11、12、13の内容から、AV保持者が在家よりも出家を尊重していたことがわかる。特に、12.1-13までの内容は「頭陀行」、すなわち律に規定される出家者の生活規律である^{xiii}。このことから、AVが、教団所属の出家者の修行内容を踏襲していることがわかる。

14は生活様式を戒めたものであるため、出家在家に共通するものである。

15.1,2はAVcin2には記されないが、四波羅夷罪を戒めており、出家者の守るべき内容である。それに対し、15.4-6は仏教徒であれば出家在家を問わず戒めるべきものである^{xiv}。

16、17は説法に関する戒めである。説法は出家者の役割であり、出家を前提としていることが伺

える。

18—21は自分の指導者に関するものである。出家在家を問わない戒めである。

22—27は他人に対する自分の行動における戒めであり、出家在家を問わないものである。

28は唯一、他人に関する内容になっている。

菩薩時の誓願は、出家在家に共通するものも多いが、基本的には出家を前提とした遵守内容になっている。もともとアクションブヤが出家者(比丘)であったことを考えれば当然と言えるが、菩薩となってからも彼自身が「出家者」という自覚を持っていたことが伺える。また、比丘時の誓願同様、自戒の傾向が非常に強い。22—27は間接的

に他人を益するものであるが、直接的に他人の利益を誓ったものは28のみである。

これらのアクションの誓願と阿弥陀の誓願との違いを赤沼[1938: 231-232]は次の4点にまとめている。

1. AVは菩薩行を説くことが多いのに対し、SVは阿弥陀の因位果上を説き、仏の果力を説くに力を注いでいる。
2. アクションの本願は多く自分のことに関係し、且つ戒律的条項が多いのに対し、阿弥陀の本願は多くに他に関係し、偉大にして壮麗である。本願は遙かに阿弥陀仏の方が勝っている。
3. アクションの本願は多く自分のことに関係するため、衆生を自分の浄土に引接する力がない。阿弥陀の本願は他に關するため、衆生を引接する力が強く、ブツダの大慈悲を示す方面では、SVが遙かに優れている。
4. 妙喜世界は極樂 (skt. sukhāvati) 世界よりも劣っている。なぜなら妙喜世界には女がおり、現実世界と異なるのは女の欠点・出産の苦痛がないというだけであるが、極樂世界には男ばかりで女がいないからである。また、その他にも浄土の説き方に著しい優劣がある。

SVは他律的であるから、自律的なAVよりも優れているというのが赤沼の結論である。そして、これらの特徴から、SVの方がAV成立も遅いとも主張している。しかしながら、仏国土や誓願の優劣をそのまま成立の先後にあてはめることはできない。そもそも、他律的な方が自律的であるよりも優れているとは必ずしも言えない。したがって、AVとSVの先後は誓願内容からは決定することはできない。むしろ、性質が異なることから、別の系統であったと考える方が妥当であろう。

筆者は、AVに戒律的条項が多いのは出家を重視していたためであると考え。また、両者の相

違に関しては、前者がナーガールジュナの説いた難行道、後者が易行道を意図しているのではないかと考えている^{xv}。しかしこれは推測にすぎず、今後の課題である。

2. 表現方法の特徴

第2の特徴は誓願を表明する際の表現方法である。表明表現は以下のように定型化されている。《禁止事項》の欄には【表1】【表2】の各項目が入る。

1.25 btsun pa bcom ldan 'das bdag de ltar thams cad mkhyen pa'i sems bskyed pa rin po che 'di bskyed de / de ltar na bla na med pa yang dag par rdzogs pa'i byang chub tu bsngos zhing / yongs su bsngos la 'di nas bzung ste / bla na med pa yang dag par rdzogs par sangs ma rgyas kyi bar du gal te《禁止事項》..... 'gyur na / bdag gis phyogs bcu kun gyi 'jig rten gyi khams dpag tu ma mchis / grangs ma mchis / bsam gyis mi khyab / gzhal du ma mchis pa thams cad nas sangs rgyas bcom ldan 'das gang dag da ltar bzugs te / 'tsho zhing gzhes la chos kyang ston pa'i sangs rgyas bcom ldan 'das de dag bslus par gyur cig /

尊者世尊よ、私はそのように一切知[者になりたいという]心を生じさせるといふこの宝を生じさせて、そのようにこの上ない正しい完全な覚り(無上正等覚)に振り向け、完全に振り向ける一方で、この上ない正しい完全な覚りを、明らかに完全に悟らないうちに、もしも…《諸禁止事項》…するならば、無量無数不可思議不可計の十方の全世界に於いて、あらゆる今存在する限りの仏世尊であり、このように居て、生活して、留まって法を説いておられる彼ら仏世尊を欺いたことになるだろう。

AVcin1: 唯天中天、我発是薩芸若意、審如是願。
為無上正真道意者…《禁止事項》…乃至成最正覚、
我為欺是諸仏世尊、諸不可計無央数、不可思議無
量世界中、諸仏天中天、今現在説法者

AVcin2: 世尊、我今発此一切知心、如是回向、於
其中間…《禁止事項》…則為欺誑一切諸仏

平たく言えば、「正覚を得るまでに誓いを破ったならば、それは諸仏を欺いたことになる」と述べていることになる。つまり、誓願が成就できなかった場合の代償は「正覚を得ることができない」のではなく、「諸仏を欺いたことになる」のである。

アクションブヤの誓願の目的は、一見すると「正覚を得ること」のようであるが、実は「諸仏を欺かない」行為の成就にあると言える。

これに対し、たとえば、阿弥陀は次のように誓願を表明する。

【SV】香川[1984:108]

sacen me bhagavaṃs tasmin buddhakṣetre《禁止事項》..... bhavet, mā tāvad ahaṃ anuttarāṃ samyaksaṃbodhiṃ abhisambudhyeyam /

【Svtib】香川[1984:108]

bcom ldan 'das gal te bdag gi sang rgyas kyi zhin de na《禁止事項》..... gyur pa de srid du bdag bla na med pa yang dag par rdzogs pa'i byang chub mngon par rdzogs par mi bgyi'o //

もしも世尊よ、私のこの仏国土において…《禁止事項》…を為したならば、私は決してこの上ない正しく完全な覚りを悟るまい。

「もしも誓いを破ったならば、私は覚りを得まい」と表現している。この場合は、誓願が成就できなかった時の代償は「正覚を得ることができない」ということである。アクションブヤと異なり、阿弥陀の誓願は「正覚を得る」ことが目的なのであ

る。

SVでは「覚りの獲得」を、AVでは「諸仏を欺かない」ことを重視していると言える。AVでは、覚りの獲得よりも、誓った通りに行くという行為そのものを重要視しているということである。

3. 結論

以上の考察から、アクションブヤの誓願の特徴を示すと以下の通りである。

①出家を前提としている

②自戒的傾向が強い

③実践を重視している

④成仏よりも誓願の遵守、つまり諸仏を欺かない行為を重視している

①②③は初期仏教と共通した特徴である。この点から、声聞・独覚を推奨してはいないものの、AVが初期仏教を完全に排斥してはいないことがわかる。

④は、「仏」への帰依心を重視しているとも言い換えられる。付言するならば、仏法僧の三宝のうち、とりわけ「法」の解釈に傾斜していたアピダルマ論師への反発を示していると言えよう。

これらの特徴から、冒頭で指摘したAVの担い手を考えてみたい。

出家者を基盤とした初期仏教内部にいた者たちであった可能性が高い。なぜなら、もしも最初から外部の集団であれば、これほどまでに教理教学に通暁していたとは考えられないからである。

AVが出家者、つまり教団内部の人間によって作られたものであるならば、大乘仏教の起源を「在家者」「教団外部の存在」にのみ求めることはできない。

しかし、経典によっては在家者や教団外部の存在が始めたものもあるかもしれない。大乘仏教の担い手に明確な答えを示すためには、最初期の大乗経典を一つ一つ紐解き、担い手を明らかにする

必要がある。今後は他經典にも枠を広げ、AV 同様に検討していきたい。

- i テキストに関する詳細な情報については佐藤[2001]を参照のこと。
- ii 第1章の梗概及び蔵漢訳の所在一覧表を末尾に付した。
- iii 阿弥陀のサンスクリット表記には、*Amitābha* と *Amitāyus* の2種類があるため本稿では日本で通常使用される「阿弥陀」の漢訳語を使用する。
- iv アクションの名称は、*JSY* によれば、「一切衆生に対して心を揺れ動かさない(*mi 'khrugs pa*) こと [1.34]」に由来する。一方、*AVcin1* は「意無瞋怒。亦無恚恨也」、すなわち心に怒りがないためであると述べ、*AVcin2* は「不爲瞋等之所搖動」、すなわち怒るなど、感情が揺れ動くことがないためであると記している。この対応を見ると、*mi 'khrugs pa* が怒りを含んだ感情の動きを示しているとも考えられる。そうであるならば、漢訳2訳は 1.1-3 をまとめて「瞋恚」「瞋害心」と訳したとも考えられる。
- v *Ast* では「声聞」「独覚」の語以外にもこれらを総称した「二乗」という用語を用いるが、*AV* には見られない。これは、*AV* が *Ast* に先立つ經典であった可能性を示唆している。
- vi *Saṅgīti-sutta* (DN III 269)。「十悪」や「十善」は初期仏教では戒としてではなく、善悪の基準を示すものとして取り扱われている。平川[1990: 16-17] 参照。
- vii この点からもアクションが *Ast* よりも早い成立であった可能性が指摘できる。
- viii Vaidya[1960: 161.20-162.10] を参照。
- ix 『道行』巻六(T.8 454bc)、『小品』巻六(T.8 564a)。平川[1990: 11-13] 参照。
- x 『大品般若経』巻五(T.8 248a)。平川[1990: 9-10] 参照。
- xi 『瑜伽師地論』巻四十(T.30 511a)、Wogihara [1932: 138-139] では菩薩の戒として「三聚淨戒」を説く。すなわち「律儀戒(*saṃvara-sīla*)」「摂善法戒(*kuśaladharmasamgrāhakaṃ sīlam*)」「饒益有情戒(*sattvānugrāhakaṃ sīlam*)」である。律儀戒は原

始仏教から部派仏教時代にかけての出家・在家者が守った戒の全てを含んでおり、言い換えれば「声聞戒」と言える。それ故、『瑜伽師地論』では、大乘仏教の菩薩はまずは声聞の戒を守り、出家した上でさらに菩薩としての戒を守るべきであると主張している。平川[1990: 6-7] 参照。

- xii 上記の誓願内容から、望月は *AV* を忍辱波羅蜜の神格化であると述べる。望月[1930: 447] 参照。
- xiii 『十誦律』(T.23 1a)、『四分律』(T.22 573a)などの原始や初期大乘經典には「頭陀行」を推奨するものが多く、その点から大乘仏教徒は初期仏教教団内部ではなく、その周辺もしくは辺境地に住する者たちであったとショベン[2000: 26-28] は主張する。
- xiv *JSY* にのみ記される誓願15.3の意図は、残念ながら未解明である。
- xv 難易二行については『十住毘婆沙論』易行品参照。

略号一覧表

- Ast* *Aṣṭāsahasrikāprajñāpāramitā* = Vaidyā 1960]]
- AV* *Akṣobhyatathāgatasya vyūha*
- AVcin1* 『仏説阿閼佉国経』(= T.11 No. 313)
- AVcin2* 『不動如来会(大宝積経19・20)』(= T.11 No. 310 6)
- C チョネ版チベット大蔵経
- D デルゲ版チベット大蔵経
- DN *Dighanikāya*
- F プダク写本チベット大蔵経
- H ラサ版チベット大蔵経
- J ジャンサタム・リタン版チベット大蔵経
- JSY 'Phags pa de bzhin gshegs pa mi 'khrugs pa'i bkod pa zhes bya ba theg pa chen po'i mdo* (= P22 No. 760 6)
- L ロンドン写本チベット大蔵経
- M ウランバートル写本チベット大蔵経
- N ナルトン版チベット大蔵経
- P 北京版チベット大蔵経
- pali. パーリ語では
- S トクパレス写本チベット大蔵経
- skt. サンスクリット語では
- SV Sukhāvativyūha*
- T. 『大正新脩大蔵経』

tib. チベット語では

Uウルガ版チベット大蔵経

『小品』『小品摩訶般若波羅蜜経』(= T.8 No. 227)

『道行』『道行般若経』(= T.8 No. 224)

参考文献一覧表

[編]=編集 [訳]=翻訳 [共]=共著 [校]=校訂,

[復]=復刊 [改]=改訂

Vaidya, P. L. [1960] ed., *Aṣṭāsāhasrikā Prajñāpāramitā*
(Buddhist Sanskrit Text 4), Darbhanga.

Wogihara, U. [1930] ed. *Bodhisattvabhūmi*, Tokyo.

赤沼智善 [1938] 『仏教経典史論』(『赤沼智善論文集』
3), 破塵閣書房.

香川孝雄 [1984] 『無量壽經の諸本対照研究』, 永田文昌
堂.

佐藤直実 [1997] 「藏漢訳『阿闍佉国経』比較研究(2) —
第1章を中心として—」(『印度学仏教学研究』46 1).

佐藤直実 [2001] 「『阿闍佉国経』チベット語訳資料につ
いて」(『日本仏教学会年報』66).

ショペン グレゴリ [=2000] 小谷信千代訳 『大乘仏教興
起時代インドの僧院生活』, 春秋社.

平川彰 [1990] 『初期大乘仏教の研究 2』(『平川彰著作
集』4), 春秋社 1968 『初期大乘仏教の研究』, 春
秋社の増補再刊).

望月信亨 [1930] 『浄土教の起源及発達』, 共立社.

アクションプランの誓願の特徴

アクションプランの誓願の特徴－付表1 第1章諸本所在対応表

	AVcin1	AVcin2	P	D	J	C	N	L	S	T	F
0	751b23	101a25	1a1	1a1	1a1	1a1	1a1	1a1	1a1	1a1	1a1
			1a3	1a2	1a5	1a5	1a3	2b2	1a2	2a1	3a2
1	751b27	101a29	1a3	1a3	1a5	2a1	2a1	2b3	2a1	2a2	3a3
2			2a1	2a1	2a3	2b1	2b3	3b1	2b4	2b5	4b2
3	751c03	102a05	2a3	2a3	2a5	2b3	2b6	3b6	3a3	3a4	5a2
4	751c04	102a06	2a4	2a4	2a6	2b4	3a3	4a2	3a5	3a7	5a4
5		102a10	2a6	2a5	2a8	2b6	3a6	4a6	3b2	3b2	5b3
6	751c06	102a11	2a7	2a6	2b1	2b7	3b2	4a7	3b3	3b4	5b5
7	751c07	102a12	2a8	2b1	2b3	3a1	3b4	4b1	3b5	3b5	6a2
8	751c11	102a14	2b2	2b3	2b5	3a3	3b6	4b3	3b7	3b8	6a5
9	751c13	102a15	2b4	2b4	2b7	3a5	4a1	4b5	4a2	4a2	6b1
10	751c14	102a16	2b5	2b5	2b8	3a6	4a3	4b6	4a3	4a3	6b4
11	751c15	102a16	2b5	2b5	3a1	3a7	4a4	4b7	4a4	4a4	6b4
12	751c15	102a19	2b7	2b6	3a2	3a8	4a6	5a1	4a6	4a6	6b7
13	751c19	102a19	2b8	2b7	3a3	3b1	4b1	5a2	4a7	4a7	7a2
14	751c20	102a20	2b8	2b7	3a4	3b2	4b1	5a2	4a7	4a7	7a3
15	751c20		2b8	3a1	3a4	3b2	4b2	5a3	4b1	4a8	7a4
16	751c22		3a2	3a2	3a6	3b4	4b4	5a4	4b2	4b2	7a6
17	751c25		3a4	3a3	3a8	3b6	4b6	5a7	4b5	4b4	7b2
18	751c26	102a20	3a5	3a4	3b1	3b7	4b7	5a8	4b6	4b5	7b3
19	751c28	102a23	3a7	3a6	3b2	4a1	5a3	5b2	5a1	4b7	7b6
20	752a01	102a25	3b2	3a7	3b4	4a3	5a6	5b4	5a2	5a2	8a1
21	752a01	102a26	3b2	3b1	3b5	4a4	5a7	5b5	5a4	5a2	8a2
22	752a03	102a26	3b4	3b1	3b6	4a5	5b1	5b6	5a5	5a3	8a3
23	752a04	102a27	3b4	3b2	3b6	4a5	5b1	5b6	5a5	5a4	3b6
24	752a05	102a27	3b5	3b2	3b7	4a6	5b2	5b7	5a6	5a5	8a5
25	752a06	102a28	3b6	3b3	3b8	4a7	5b3	5b7	5a7	5a6	8a6
26	752a08	102a29	3b7	3b4	4a1	4a8	5b6	6a1	5b1	5a7	8b1
27			4a3	3b6	4a5	4b4	6a3	6a5	5b5	5b3	8b6
28	752a11	102b03	4a7	4a2	4a8	4b7	6b1	6a8	6a2	5b7	9a4
29	752a11	102b05	4b2	4a4	4b3	5a3	6b5	6b3	6a5	6a3	9b1
30	752a12 752a19	102b07 102b11	4b5 4b5	4a7 4a7	4b6 4b6	5a6 5a6	7a1 7a1	6b7 6b7	6b2 6b2	6a6 6a6	9b5
31	752a13	102b08	4b3	5a2	5a2	5b2	7a6	7a3	6b6	6b3	10a3
32	752a15	103b10	5a5	4b5	5a5	5b5	7b3	7a6	7a2	6b6	10a7
33	752a17	102b11	5a8	4b7	5a8	5b8	7b7	7b1	7a6	7a2	10b3
34	752a29	102b12	5b5	5a4	5b4	6a4	8a6	7b6	7b4	7a7	10b8
35	752b02	102b14	5a5	5b7	5b5	6a6	8b1	7b7	7b5	7a8	10*a2

36	752b05	102b14	6a2	5a7	5b8	6a8	8b4	8a2	8a1	7b3	10*a5
37	752b07	102b18	6a4	5b1	6a2	6b2	8b7	8a4	8a4	7b7	10*a8
38	752b08	102b19	6a5	5b2	6a3	6b3	9a1	8a6	8a5	7b7	10*b1
39	752b10	102b22	6a9	5b4	6a5	6b6	9a5	8b1	8b1	8a2	10*b5
40	752b11	102b25	6b4	5b7	6b1	7a2	9b3	8b4	8b5	8a6	11a1
41	752b11	102b28	6b8	6a3	6b4	7a5	9b7	8b8	9a2	8b2	11a5
42	752b15	102c02	7a7	6b1	7a3	7b3	10b2	9a7	9b2	9a2	11b5
43	752b24	102c05	7b3	6b4	7a6	7b7	10b6	9b3	9b6	9a6	12a2
44	752b25	102c07	7b7	6b6	7b2	8a2	11a4	9b6	10a3	9b2	12a6
45	752b26	102c10	8a3	7a2	7b6	8a6	11b2	10a2	10b1	9b6	12b4
46	752b29	102c14	8a8	7a6	8a2	8b3	12a1	10a6	10b6	10a3	13a2
47			8b4	7b1	8a5	8b6	12a5	10b1	11a2	10a7	13a6
48	752c02	102c15	8b8	7b4	8b1	9a2	12b3	10b6	11a7	10b4	13b3
49			9a3	7b7	8b4	9a6	12b7	11a1	11b4	10a8	13b8
50	752c03	102c17	9a7	8a2	8b7	9b1	13a5	11a4	12a1	11a4	14a4
51	752c07	102c20	9b2	8a5	9a3	9b5	13b2	11a8	12a5	11a8	14b1
52	752c09		9b6	8b1	9a6	10a1	13b7	11b3	12b2	11b4	14b5
53	752c10		10a2	8b4	9b2	10a4	14a4	11b7	12b6	11b7	15a2
54	752c12	102c22	10a5	8b6	9b5	10a8	14b2	12a2	13a3	12a3	15a6
55	752c14	102c24	10b1	9a2	10a1	10b3	14b7	12a6	13a6	12a7	15b3
56	752c19	102c26	10b2	9a3	10a2	10b5	15a2	12a7	13b1	12b1	15b4
57		102c29	10b5	9a5	10a5	10b7	15a5	12b2	13b4	12b2	15b8
58	752c20	102c29	10b6	9a6	10a6	10b8	15a6	12b3	13b5	12b3	16a1
59	752c22	103a02	10b8	9a7	10a7	11a2	15b1	12b5	13b7	12b5	16a3
60	752c25	103a04	11a1	9b1	11a1	11a3	15b3	12b6	14a1	12b6	16a4
61	752c27	103a05	11a2	9b2	10b2	11a4	15b4	12b7	14a3	12b8	16a6
62	753a01	103a09	11a6	9b5	10b5	11a8	16a2	13a3	14a7	13a4	16b2
63	753a03	103a08	11a7	9b6	10b7	11b2	16a4	13a5	14b1	13a6	16b4
64	753a04	103a10	11b1	9b7	10b8	11b3	16a6	13a6	14b3	13a7	16b6
65	753a08	103a12	11b3	10a2	11a3	11b6	16b2	13b1	14b6	13b2	17a2
66	753a11	103a13	11b5	10a4	11a5	11b8	16b5	13b3	15a1	13b4	17a4
67	753a15		12a2	10a7	11b1	12a4	17a3	13b7	15a7	14a1	17b2
68		103a16	12a5	10b2	11b4	12a8	17a7	14a3	15b3	14a4	17b6
69	753a16	103a19	12a7	10b3	11b5	12b1	17b1	14a4	15b4	14a5	17b7
70	753a18	103a19	12a7	10b5	11b7	12b1	17b2	14a4	15b5	14a6	17b7
71	753a19	103a21	12b1	10b6	11b8	12b4	17b5	14a7	16a1	14b1	18a3
72	753a20	103a23	12b4	10b7	12a2	12b6	18a1	14b1	16a4	14b3	18a6
73	753a21	103a24	12b4	11a1	12a3	12b7	18a2	14b2	16a5	14b3	18a7
74	753a23	103a25	12b6	11a2	12a4	12b8	18a3	14b3	16a6	14b5	18a8

佐藤直実

75	753a26	103a27	12b7	11a3	12a6	13a1	18a5	14b5	16b1	14b6	18b2
76	753a26	103a28	12b7	11a3	12a6	13a2	18a6	14b5	16b1	14b6	18b2
77	753a27	103a29	12b8	11a4	12a7	13a3	18a7	14b6	16b2	14b7	18b3
78	753a28	103a29	13a1	11a4	12a7	13a3	18a7	14b6	16b3	14b8	18b4
79			13a4	11a6	12b2	13a6	18b4	15a1	16b6	15a3	18b8
80	753b02	103b03	13a4	11a7	12b3	13a7	18b5	15a2	16b6	15a3	18b8
81			13a6	11b1	12b4	13a8	18b6	15a3	17a1	15a5	19a2
82	753b03	103b05	13a7	11b1	12b5	13b1	19a1	15a4	17a2	15a5	12b5
83	753b04	103b05	13a7	11b2	12b6	13b2	19a1	15a5	17a3	15a5	12b5
84	753b06	103b06	13b1	11b3	12b7	13b3	19a3	15a6	17a4	15a7	19a6
85	753b06	103b07	13b1	11b3	12b8	13b4	19a4	15a7	17a5	15a7	19a7
86	753b08	103b08	13b5	11b6	13a3	13b7	19b1	15b2	17b2	15b3	19b3
87	753b10	103b10	13b5	11b6	13a4	13b8	19b2	15b2	17b3	15b4	19b4
88	753b15	103b14	14a1	12a2	13a7	14a3	19b6	15b6	17b6	15b8	19b8
89	753b23	103b18	14a6	12a5	13b4	14a8	20a5	16a2	18a5	16a5	20a6
90	753b28	103b21	14b3	12b2	13b8	14b5	20b4	16a7	18b3	16b1	20b4
91	753c07	103b25	14b8	12b6	14a6	15a3	21a4	16b4	19a3	16b7	21a3
92		103b29	15a7	13a4	14b3	15a3	21b5	17a3	19b3	17a5	21b3
93	753c12	103c03	15b3	13a6	14b7	15b5	22a2	17a6	19b7	17a8	21b7
94	753c17	103c05	15b6	13b1	15a1	15b8	22a6	17b1	20a3	17b3	22a3
95	753c17	103c06	15b6	13b2	15a2	15b8	22a7	17b2	20a4	17b3	22a4
96	753c18	103c07	15b8	13b3	15a3	16a2	22a7	17b3	20a5	17b5	22a5
97	753c19	103c07	15b8	13b3	15a4	16a2	22b2	17b4	20a6	17b5	22a6
98	753c21	103c09	16a3	13b5	15a6	16a4	22b4	17b6	20b1	17b7	22a8
99	753c25	103c13	16a7	14a1	15b1	16a8	23a2	18a1	20b5	18a3	22b5
100	753c29	103c14	16b2	14a3	15b5	16b4	23a6	18a5	21a2	18a7	23a1
101	754a05	103c17	17a1	14b1	16a3	17a2	23b7	18b3	21b2	18b4	23b1
102	754a08	103c19	17a4	14b3	16a6	17a5	24a4	18b6	21b5	18b7	23b5
103	754a14	103c22	17a7	14b6	16b1	17b1	24b1	19a1	22a2	19a3	24a1
104	754a19	103c25	17b4	15a2	16b7	17b6	24b7	19a7	22b1	19a8	24a7
			17b8	15a6	17a2	18a2	25a5	19b2	22b5	19b4	24b4
105	754a24	104a01	17b8	15a6	17a2	18a2	25a5	19b2	22b5	19b4	24b5
106	754a26	104a02	18a2	15a7	17a5	18a5	25b1	19b4	22b7	19b6	24b7
107	754b04	104a05	18a7	15b4	17b1	18b2	25b7	20a1	23a6	20a3	25a5
108	754b06	104a06	18a8	15b4	17b2	18b2	26a1	20a2	23a7	20a4	25a6
109	754b07	104a07	18b1	15b5	17b3	18b3	26a2	20a3	23b1	20a4	25a7
110	754b08	104a07	18b1	15b5	17b4	18b4	26a2	20a3	23b1	20a5	25a8
111	754b09	104a09	18b3	15b6	17b5	18b5	26a4	20a5	23b3	20a6	25b2

112	754b11	104a10	18b4	15b7	17b6	18b6	26a6	20a6	23b4	20a8	25b3
113		104a12	18b6	16a1	17b8	18b8	26b1	20a8	23b6	20b1	25b5
114	754b13	104a13	18b6	16a2	18a1	19a1	26b1	20a8	23b7	20b2	25b6
115	754b14	104a14	18b7	16a3	18a2	19a2	26b3	20b1	24a1	20b3	25b7
116	754b15	104a15	18b8	16a3	18a2	19a2	26b3	20b2	24a1	20b3	25b7
117	754b15	104a15	19a1	16a4	18a3	19a3	26b5	20b3	24a3	20b5	26a1
118	754b17	104a16	19a2	16a4	18a4	19a4	26b5	20b3	24a4	20b5	26a2
119	754b17	104a17	19a3	16a5	18a5	19a5	26b7	20b5	24a5	20b7	26a3
120			19a5	16a6	18a7	19a7	27a2	20b6	24a7	20b8	26a5
121		104a18	19a5	16a7	18a7	19a7	27a2	20b7	24a7	21a1	26a6
122		104a20	19a8	16b2	18b2	19b2	27a6	21a2	24b3	21a4	26b1
123		104a20	19a8	26b2	18b2	19b2	27a6	21a2	24b4	21a4	26b1
124		104a22	19b2	16b3	18b4	19b4	27b1	21a4	24b6	21a6	26b4
125	754b18	104a23	19b2	16b4	18b5	19b5	27b2	21a5	24b7	21a7	26b5
126		104a27	19b4	16b5	18b6	19b6	27b4	21a7	25a2	21a8	26b7
127	754b19	104a27	29b6	16b6	18b8	19b8	27b6	21a8	25a3	21b2	27a1
128	754b23	104b01	19b8	17a1	19a2	20a2	28a3	21b3	25a6	21b4	27a4
129	754b25	104b04	20a3	17a3	19a4	20a4	28a5	21b5	25b1	21b6	27a7
130	754b27	104b06	20a4	17a4	19a6	20a6	28a7	21b7	25b3	21b8	27b1
131	754b29	104b08	20a6	17a6	19a8	20a8	28b3	22a1	25b6	22a2	27b4
132		104b09	20a7	17a6	19b1	20b1	28b4	22a2	25b7	22a3	27b5
133	754c01	104b10	20b1	17a7	19b3	20b2	28b6	22a3	26a1	22a4	27b7
134	754c05	104b13	20b2	17b1	19b4	20b4	29a1	22a5	26a3	22a6	28a1
135	754c07	104b15	20b4	17b3	19b5	20b5	29a3	22a6	26a4	22a7	28a3
136	754c09	104b17	20b7	17b5	19b8	20b8	29a7	22b1	26b1	22b2	28a7
137		104b19	20b8	17b5	20a1	21a1	29b1	22b2	26b2	22b3	28a7
138	754c12	104b20	21a1	17b6	20a2	21a3	29b2	22b3	26b3	22b5	28b1
139	754c16	104b22	21a4	18a1	20a5	21a5	29b5	22b6	26b6	22b7	28b5
140	754c19	104b24	21a7	18a3	20a8	21a8	30a2	23a1	27a2	23a2	28b8
141	754c22	104b26	21b2	18a5	20b3	21b3	30a6	23a4	27a5	23a5	29a4
142	754c23	104b27	21b3	18a7	20b5	21b5	30b1	23a6	27a7	23a7	29a6
143	754c26		21b5	18b1	20b7	21b7	30b3	23b1	27b2	23b1	29b1
144	754c29	10402	21b7	18b2	20b8	21b8	30b5	23b2	27b4	23b3	29b2
145	755a04	10408	21b8	18b3	21a2	22a2	30b7	23b3	27b5	23b4	29b4
146		10410	22a5	18b7	21a7	22a6	31a6	23b8	28a4	24a1	30a2
147	755a06	10411	22a7	19a1	21a8	22a8	31a7	24a2	28a5	24a2	30a3
148	755a08	10413	22a8	19a2	21b1	22b1	31b1	24a3	28a6	24a2	30a4
149	751b25	10127	22b2	19a3	21b3	22b2	31b4	24a5	28b2	24a5	30a7

*Fは10フォリオが2枚あるため、*を付して区別している。